

**【中條屋 健】**

僕は、これまで漫画『はだしのゲン』や戦争の映画などを見て、戦争は悲惨で、怖いものだとして理解しているつもりでした。しかし、広島へ行って語り部の貴重な話を聞いたり、原爆ドームを間近で見学したり、広島平和記念資料館で被爆した人たちやまちの様子の写真を見たりして、今までの想像していた残酷さと程度が全く違い、非常に驚きました。僕は、これからみんなに核兵器や戦争の怖さなどを伝え、核兵器根絶を願い、行動していきたいと思います。



**【岡部彩音】**



広島では、原爆ドームや広島平和記念資料館を見たり、実際に原爆の被害を体験した語り部の生の声を聞いたりしました。そのときの気持ちを考えると、とても心が痛かったです。現在、原爆を実際に体験した方が高齢化で、どんどん少なくなってきています。原爆が落とされたことでたくさんの人たちの人生が変わってしまったことを忘れてはいけなと強く思いました。実際に広島に行って研修を受けた私たちだからこそ、広島での出来事を忘れないよう未来につなげていかなければならないと思いました。

**【柴田順平】**

実際に原爆が投下され、多くの方が亡くなった広島で原爆や平和について学んだことで、インターネットで調べたとき以上の恐怖を感じ、悲惨な様子をリアルに想像することができました。広島平和記念資料館には後遺症についての資料がたくさんあり、被爆者への法的援護や医師の努力など初めて知ることばかりでした。今年で原爆の投下から73年がたち、被爆者の方も少なくなってきています。今回学んだことを、大人になっても語り継いでいきたいです。



**【新實凌汰】**



原爆は人間がつくったとは思えないほどの破壊力で、一瞬にしていろいろなものを消してしまうとても恐ろしい兵器です。そんな恐ろしい核兵器を今でも保有している国がたくさんあります。しかし、核兵器根絶に向けた運動も進められているそうです。1日も早く世界から核兵器がなくなり、平和で安全な未来がくることを願います。

**【青木舞雪】**

直接自分の目で見た原爆ドームは、被爆直後のままの姿で痛々しい状態でした。この場所で73年前にたくさんの人たちが苦しみながら亡くなったことを思い浮かべると、心が痛みました。このような悲惨なことが起きないように、私たちがしなければいけないことは、核兵器を地球上からなくし、平和な世界をつかっていくことや二度と戦争をしないことが一番大切だと思いました。

